

実施計画事業名		保育サービス提供事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		教育部 こども課		課長(主幹)名	渡邊 祐子			
総合計画体系	分野	2	保健・医療・福祉					
	政策	2	子どもたちの健全な成長を支援します					
	施策	3	総合的な子育て支援体制の整備を促進します					
	関連施策							
現状と課題	市立保育所は、従来3施設を運営してきた(民間保育所は0箇所)が、こどもの数が大きく減少する中、民間幼稚園への併設を進めながら、サービスの向上を図ってきた。現在、市立保育所は2施設、私立保育所4ヶ所であり、父母の就労形態の変化等に対応するため一時保育・延長保育を実施しており、待機児童もほとんどない状況である。なお、へき地保育所は4ヶ所で運営(委託)している。							
目的	父母が子育てをしながら仕事を続けられ、また乳幼児が健やかに育つこと							
施策展開の	市立保育所は当面の間、2施設の運営を継続するが、入所希望者の推移状況をみながら、港保育所の閉所を含め、今後のあり方について検討する。 私立保育所と連携を図りながら、待機児童が生じないよう運営を行っていく。							
成果指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度	
	市内保育所の定員総数 (うち市立保育所)		人	目標	410(200)	410(200)	410(200)	
説明	市内保育所(市立保育所、私立保育所)の定員の合計数 ※( )内は、うち市立保育所の合計定員数 ※各年5月1日			実績	410(200)	410(200)		
活動指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度	
	市内保育所の入所者数(うち市立保育所)		人	目標	370(180)	370(180)	370(180)	
	説明	市内保育所の入所者数(うち市立保育所) ※各年5月1日			実績	356(130)	389(142)	
	延長保育利用延べ時間数		時間	目標	2800(1000)	2800(1000)	2800(1000)	
	説明	市内保育所の延長保育が利用された年間延べ時間数(うち市立保育所)			実績	2665(927)	3443(637)	
	一時保育利用回数(うち市立保育所)		回	目標	500(50)	500(50)	500(50)	
	説明	市内保育所の一時保育の回数(うち市立保育所)			実績	465(12)	597(82)	
事業費の実績			単位	22 年度 (決算)	23 年度 (評価年度決算見込)	24 年度 (予算)	備考	
	直接事業費(A)		千円	105,588	104,224	109,477		
	国庫支出金		千円	0	6,720	6,260		
	道支出金		千円	0	84	0		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	46,991	34,121	9,050		
	一般財源		千円	58,597	63,299	94,167		
	この事業にかかる職員数		人/年	11.68	13.74	13.11		
	人件費(B)		千円	79,319	95,548	91,167		
計(A+B)		千円	184,907	199,772	200,644			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	<b>a</b> a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
コスト効率	<b>a</b> a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総合評価	<b>A</b> 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 地域における保育ニーズ量を的確に把握し、公立保育所の安定的、効率的な運営に努めるとともに、延長保育、一時保育等特別保育事業の実施により児童が健全に発達できる環境を確保し、子育てと就労の両立を支援する。また、小学校との連携、保護者支援、保育の質の向上に取り組む。 へき地保育所については、今後も指定管理者制度により、地域の実情を反映した運営を行う。

【2次評価】

成 果	<b>a</b>	細事業の構成	<b>a</b>	細事業の進め方	<b>a</b>	コスト効率	<b>a</b>
総合評価	<b>A</b> 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 今後の保育サービスの在り方について、施設の老朽化や児童数の推移等も踏まえ、長期的な視点で検討を進める。						

【内部評価委員会】

意見	
----	--